

# 水道ビジョンまつやま2019

(水道事業経営戦略)



松山市公営企業局

## はじめに

本市の水道は、1953（昭和28）年の給水開始以来、市域の拡大や市勢の発展とともに増大してきた水需要に応えるため、数次にわたる拡張事業や施設整備事業を実施し、市民の皆様へ水道水を安定してお届けすることで、市民生活や都市活動を支えてまいりました。

しかし、21世紀を迎え①老朽化に伴う水道施設の大量更新、②地震などの災害への備え、③団塊世代職員からの技術継承など、全国の水道事業者と同様に本市でも幾つもの課題に直面しており、これらを一つずつ解決しながら、水道事業を将来の世代へと確実に引き継いでいくための設計図として、21世紀半ばの本市水道の将来像と10年間の具体的な取り組みを示した『水道ビジョンまつやま2009』を策定し、お客さま一人ひとりの豊かで潤いのある生活を支えていけるよう公営企業局職員一丸となって取り組んでまいりました。

このたび、2009（平成21）年3月に策定した現行の「水道ビジョンまつやま2009」が目標年度を迎え、2019年度から新たな10年をスタートするにあたり、これまで本市が目指してきた将来像の実現に向け、新たな課題にも対処していく必要があることから、国が示した「新水道ビジョン」と「経営戦略」の内容を一本化したものとして、2019年度から2028年度を実施期間とする『水道ビジョンまつやま2019（水道事業経営戦略）』を策定しました。

『水道ビジョンまつやま2019（水道事業経営戦略）』では、節水型機器等の普及や人口減少社会の到来による水道料金収入の減少が大きな課題であり、南海トラフ巨大地震等に備えた水道施設の耐震化事業などを計画どおり実施していくうえで、いかにして健全な財政基盤を維持していくか、そのことが水道事業者に求められています。

松山市公営企業局では、これからも、お客さまとの対話を大切にしたい水道づくりを心掛け、ライフラインとしての役割にとどまらず、よりお客さまに満足していただける水道サービスの提供を目指すことで、水道への信頼を継続・発展させていきたいと考えています。

最後になりましたが、『水道ビジョンまつやま2019（水道事業経営戦略）』の策定にあたり、貴重なご意見やご提言を賜りました松山市公営企業局水道事業経営問題懇談会委員の皆さまをはじめ、水道に関するお客さま意識調査やパブリックコメントにご協力いただきました方々に対しまして、心から感謝申し上げます。

2019年3月

松山市公営企業管理者 平岡 公明

# 目次

第1章 策定にあたって	3
1 水道事業のあゆみ	3
2 給水人口と給水量の推移	4
3 建設改良費と料金収入の推移	5
4 水道施設の概要	6
5 水道ビジョンまつやま2009の進捗状況	7
第2章 水道事業を取り巻く今後の事業環境と課題	14
1 人口減少社会の到来と料金収入の減少	14
2 水道施設の老朽化と増大する更新需要	15
3 巨大地震に備えた震災対策	17
4 お客さまニーズへの対応	18
5 公営企業の「経営戦略」策定の要請	19
6 長期の投資計画と財政収支見通しの検討	20
第3章 水道ビジョンまつやま2019（水道事業経営戦略）	26
1 策定趣旨	26
2 位置づけ	27
3 計画期間	27
4 経営の基本方針	28
5 目指す将来像	29
6 将来像を実現するための目標と方針	30
第4章 新たな10か年プラン	35
1 方針と具体的な取り組み	35
2 10か年の投資・財政計画	48
3 目標の設定と進捗管理	53
章末 附属資料・用語解説	55
1 水道に関するお客さま意識調査の結果	55
2 松山市公営企業水道事業経営問題懇談会の審議経過	65
3 用語解説	67
4 個別施設計画	70
5 管理指標の算定式と解説	72